

## 研究協力をお願い

2015年1月1日から2024年12月31日までの間で、福井赤十字病院脳神経外科で、髄膜腫の治療を受けられた患者さんはご覧ください。

福井赤十字病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### 多機関コホートを利用した髄膜腫術後における予防的抗発作薬の効果に関する研究

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

2015年1月1日から2024年12月31日に当院脳神経外科でテント上髄膜腫の手術を受けられた方

#### 2. 研究目的・方法

脳腫瘍は、発症部位や腫瘍の種類により、さまざまな治療が必要になります。診療・治療技術は著しく進歩しています。また、腫瘍が脳の神経細胞を刺激することで、異常な電気活動が生じ、けいれん発作が起こることがあります。そのため、脳腫瘍と診断された場合には、手術の有無にかかわらず、けいれん発作を抑えるための薬（抗発作薬）を内服が必要となることがあります。ただ、いつまで内服を続けたら良いかなど 決まったものではありません。

本研究の目的は、脳腫瘍（特に髄膜腫）と診断されて手術を受けられた患者さんを対象に、検査結果、治療内容、安全性などの臨床情報を収集し、解析することで、抗発作薬によるけいれん発作の予防成績と問題点を明確化することです。その結果により、適切な抗発作薬の選択、薬を内服していただく期間、治療の成績、安全性、患者満足度の向上に有効に活用できると考えています。

#### 研究期間

研究機関の長の実施許可日から2030年12月31日まで

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

2015年1月1日から2024年12月31日までに得られた、画像データ（頭部CT、MRI、血管撮影検査など）、臨床データ（症状、既往歴、血液検査、治療内容、経過、予後など）

#### 4. 研究の実施体制

研究代表者 京都大学医学部脳神経外科 准教授 菊池 隆幸

#### 5. お問い合わせ先

この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究全体の成果については、ご希望が

あればお知らせいたします。いずれの場合も担当医師にお申しつけください。

研究責任者：

福井赤十字病院 脳神経外科 研究責任者：福光 龍

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：福井赤十字病院 脳神経外科 福光 龍

住所：918-8501 福井市月見2丁目4番1号

電話番号：0776-36-3630